

# くまブザー

熊出没通知アプリ

---

知らせ合いで、お互いを守ろう。



くまブザー運営チーム  
(ボランティア団体)

# [ 目次 ]

01 背景、社会課題

02 ソリューション

03 プロジェクトの概要

04 利用シーン

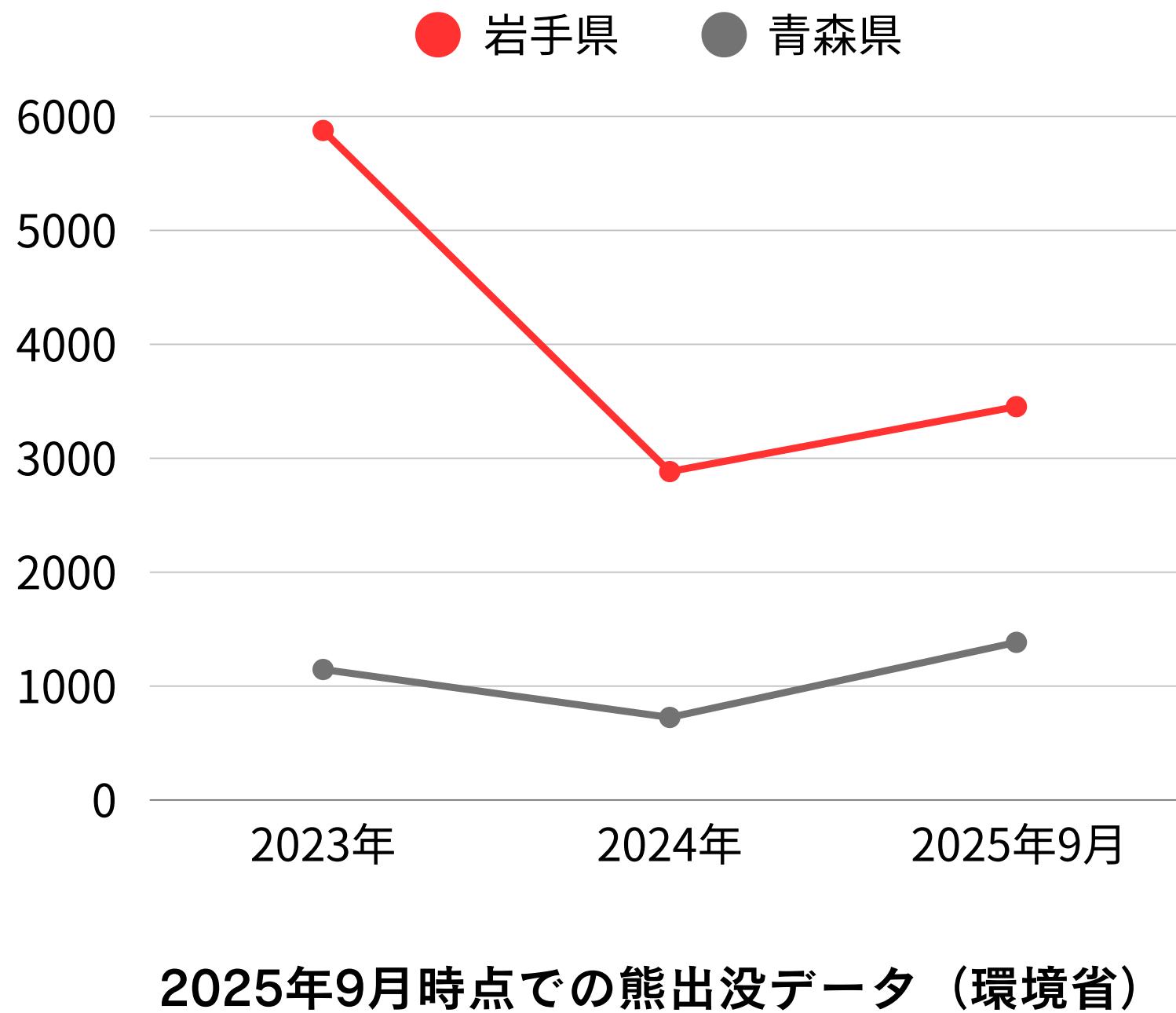
05 本アプリについて

06 想定インパクト

07 今後の展開

## [ 背景、社会課題 ]

昨年度は、熊出没件数が過去5年間で最多。



## [ 背景、社会課題 ]

熊出没情報の即時性、信頼性、拡散力は、ときに命に関わる問題です。

既存の通報手段は、電話、行政メール、SNS等。



**電話** → 正確で即時性があるが、拡散力がない。

**SNS** → 拡散力が高いが、信頼性が低い。

**行政メール** → 正確・広報的だが、即時性に欠ける。

# [ 背景 ]

## 背景

---

- 通報がSNSや電話、メール頼りで、遅い／全員にすぐ届かない。
- 住民間で、熊を「見た」「聞いた」を簡単に共有し、二次災害を防ぐしくみ。

## [ ソリューション ]

- ① 熊目撃をアプリを通して、即通報可能。
- ② 通報場所の近隣ユーザーのみに、  
1秒以内にプッシュ通知。（ロック画面でも）

# [ プロジェクトの特徴 ]

01

## 即近隣通知

通報があった周辺（半径約5km以内）のユーザーへ、最短1秒以内でプッシュ通知します。

02

## ロック画面通知

アプリを開いていなくとも、近くでの熊出没の通知がとどきます。

03

## 簡単操作

高齢から子供の方でも、使えるような簡単な操作です。  
ログイン不要。

# [ 利用シーン例 ]



## 通勤、通学

通知を受けてすぐに下校時間の変更等、次被害を防止します。



## 外出時

外出時、熊出没通知地点を瞬時に把握し、安全な行動を取れます。



## 登山中

周辺情報をチェックし、目撃通知が届いたら、すぐに避難行動を取れます。

# [ 本アプリについて ]



## [ 想定インパクト ]

本アプリの導入で、期待する既存通報手段からの変化。

	<b>Before</b>	<b>After</b>
<b>通知までの時間</b>	数分 (行政による事実確認の後)	約1秒

## 今後の展開

### くまブザー認知の拡大。

- 市町村と連携し、自治体の皆様のフィードバックとともに、より熊出没が考えられる地域に導入していきたいです。(また、「信頼性」の部分を自治体のご協力の元、上げていきたいです。)
- クラウドファンディング、地域イベントへの参加やYoutube広告などで、アプリ認知の拡大を図ります。
- また、オンラインコミュニティ等を利用して、その認知度を高めていきます。

### ボランティアとしてのサービスの継続。

- 自分たちはあくまで、ボランティアとして、お世話になった地域（特に岩手県、東北地方）に貢献していく。

# 閲覧ありがとうございました!



くまブザー運営チーム  
harukikuriwada@gmail.com



公式ウェブサイト  
<https://www.kumabuzzer.org>